

第59回群馬県医学検査学会
臨床化学研究班セミナー

採血の実践

群馬大学医学部附属病院検査部

静 怜子

2013年11月10日

本日の内容

- 採血における不適切な内容をチェックしよう！
- 採血のポイント
- 適切な採血法

～標準採血法ガイドラインGP4-A2に基づいて～

採血のポイント

1. 採血環境
2. 患者確認
3. 採血管と採血針の確認
4. 採血のためのインフォームドコンセント
5. 感染予防策:手袋の装着
6. 駆血:クレンチング防止、アームダウン
7. 消毒:アルコール/アルコールフリー
8. 消毒綿の置き場所
9. 皮膚の緊張をさせ
10. 針を刺す:さぐり防止
11. 複数採血管(採血管の抜き差し)
12. 駆血帯を外す
13. 針の抜去とその始末
14. 止血とその指導
15. 採血管や採血用具の始末
16. 全過程において:患者さんとのコミュニケーション



採血のポイント

1. 採血環境

- ・スペース
- ・プライバシー保護

隣のブースとの間に不透明な仕切り板
個室

- ・リラックス: ゆったりとしたBGM
- ・採血者の身だしなみ: 髪の毛の始末、服装



採血のポイント

2. 患者確認

- 本人確認の方法

患者さん自身に名乗ってもらう

発語障害の患者さんには指示票を見せて照合する
認知障害の患者さんには付き添い者にて照合する
など工夫が必要

採血のポイント

3. 採血管と採血針の確認

- ・検査依頼内容と採血管の一致を確認
- ・適切な採血針の選択



採血のポイント

4. 採血のためのインフォームドコンセント

- ・採血の本数を提示
- ・採尿の確認



採血のポイント

5. 感染予防策：手袋の装着

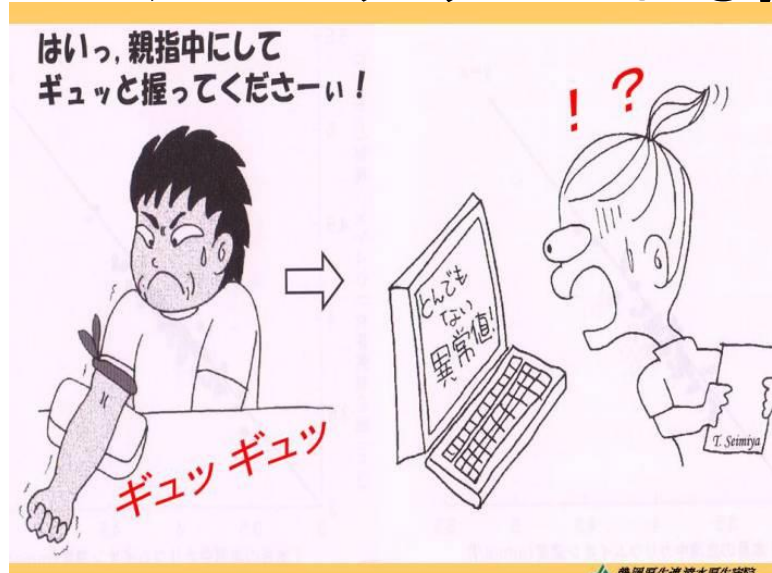
- ・患者毎に取り換える



採血のポイント

6. 駆血：クレンジング防止、アームダウン

- ・長時間の駆血禁止
- ・クレンジングによる「K」偽高値防止
- ・アームダウンによる採血管からの逆流防止



採血のポイント

7. 消毒: アルコール/アルコールフリー 単回使用

- ・アルコール消毒
- ・ベンザルコニウム塩化物(ザルコニン)消毒
- ・イソジン消毒



採血のポイント

8. 消毒綿の置き場所

- ・消毒綿を台に置かない



採血のポイント

9. 皮膚の緊張をさせ

10. 針を刺す：さぐり防止

- ・針の切り口は上に向けて
- ・高齢者での“にげる“血管対策
- ・針のさぐりが原因の“痛み”や“内出血”等
→ 患者からのクレーム発生



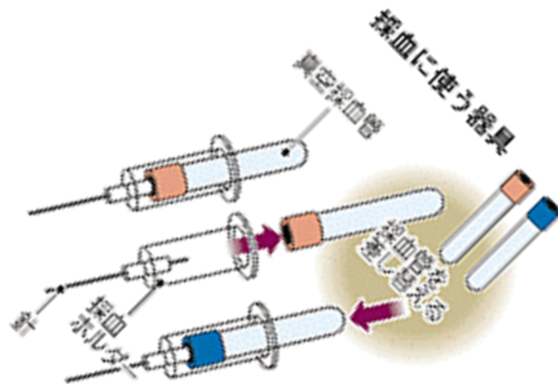
採血のポイント

11. 複数採血管（採血管の抜き差し）

- ・特に直針の場合には注意が必要

採血管の抜去とともに針が抜ける
採血管の挿入とともに針が進んでしまう

- ・もちろん採血管の順番は重要



採血のポイント

12. 駆血帯を外す

13. 針の抜去とその始末

- 駆血帯 ⇒ 針抜去
 順番を間違えるとインシデント発生
- 針の始末は慎重に

誤刺の大部分は採血後の安心感に潜んでいます！
その廃棄ボックスは安全ですか？

採血のポイント

14. 止血とその指導

- ・止血指導をしなかったために、採血後の“大量出血”が発生している
- ・絆創膏によるかぶれトラブル
(翌受診時まで貼っていた例あり)



採血のポイント

15. 採血管や採血用具の始末

- ・採血管はどのように検査現場に運ばれるか？

採血管の長時間放置

過度な振動

不適切な保管

- ・ゴミの分別

紙・プラゴミ

手袋等感染ゴミ

針等感染ゴミ

採血のポイント

15. 採血管や採血用具の始末

- ・採血管はどのように検査現場に運ばれるか？

採血管の長時間放置

過度な振動

不適切な保管

- ・ゴミの分別

紙・プラゴミ

手袋等感染ゴミ

針等感染ゴミ



採血のポイント

16. 全過程において

- ・患者確認
- ・針を刺すタイミングでの声かけ
- ・採血中に「しびれ」や「痛み」がないかの確認
- ・針を抜くタイミングでの声かけ
- ・止血指導・絆創膏指導

患者さんとのコミュニケーションが重要！

本日のまとめ

安全で安心な採血を心掛ける

- 採血技術のスキルアップ
- コミュニケーションの重要性
- 想定される事態に対しての対応策を整えておく

★採血できなかったとき

★患者の訴え(止血不能、かぶれ、痛み)

★針刺し

★モンスターペイシエント